

義務教育学校設置に係る代表保護者説明会 ～武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設立について～

日 時	: 令和3年12月22日(水) 19時00分 ~ 21時00分
会 場	: 武蔵浦和コミュニティセンター多目的ホール(サウスピア 9F)
参加者数	: 関係9校(5小学校、4中学校)の保護者代表 計63名
事務局	: 教育長、管理部長、管理部参事、教育政策室長、学事課長、学校施設課長、 教育政策室副参事、教育政策室長補佐、学校施設課長補佐、 学事課学務係長、学校施設課計画係長
資 料	: 武蔵浦和駅周辺地区義務教育学校の設立について

以下、質疑応答の概要を記す

- 登下校について、「通学距離が長くなるのではないか」、「登校班はどうなるのか」等の指摘に対し、『児童生徒の安全を第一に、今後、みなさんと一緒に議論していきたい』と回答した。
- 通学区域について、『通学距離や安全性を踏まえて検討している段階であるため、具体的に示すことはできない』という説明に対し、浦和大里小の保護者から、「学年で分けるのではなく、通学の距離で考えてほしい」との声があった。
- 児童生徒数の推計について、「長期的に見れば少子化が進むことや、中学受験による流出は見込んでいるのか」との指摘に対し、『人口減少期も視野に入れた施設を整備していくこと、中学受験も考慮した推計であること』を回答した。
- 「各学校のプールを潰して仮設校舎を建てるなど、新しい学校用地がなくとも改良できる方法はあるのではないか、また、今後児童数が減っていくことを考えると、各学校が工夫していくことで人口のピークを迎える前に迅速に対応できるのではないか」との指摘に対し、『各学校の小さな工夫では教育環境の改善につながらない』と回答した。
- 「新設する義務教育学校は受験生にする等、希望者のみが通う形にはできないのか」との指摘があり、『武蔵浦和駅周辺地区の児童生徒数の増加に対して教室を確保するためには、3校舎を活用した義務教育学校が必要である』と回答した。
- 「沼影市民プールの代替施設」については、『教育委員会としても課題として捉えており、市長部局でも検討しているため、別の機会とはなるが、説明会を予定している』と回答した。
- 「校舎が離れていることで交流が難しくなるのではないか」との指摘に対し、『異学年交流を頻繁に実施できるようなプログラムを検討している』と回答した。
- 「義務教育学校などの新しいことよりも、不登校など、いま問題に直面している子どもに向き合ってもらいたい」との指摘があり、『いま大きな試みを不登校についても検討しており、みなさまにご協力いただきながら進めていきたい』と回答した。
- 「時間が足りず質問しきれっていない」との指摘に対し、『市HPの問い合わせフォームの利用や、説明会に合わせて質問を募集すること』を回答した。

以上